

第21回 やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議

議事要旨

日 時：令和6年11月5日（火） 9：30～11：30

場 所：八代市役所 301・302会議室

■やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議 委員（敬称略）

八代市	副市長	福島 誠治（会長）
八代市市政協力員協議会	会長	福田 民男
八代商工会議所	会頭	竹永 淳一
八代市商工会	会長	野村 浩一
八代漁業協同組合	代表理事組合長	平田 正一
有限会社 神園交通	代表取締役	神園 久二子
一般社団法人DMOやつしろ	事務局長	永田 浩基
熊本県南広域本部	総務部長	宮川 和巳
八代高等学校	校長	吉永 武幸
八代市教育委員会	委員	早田 蛍
株式会社肥後銀行 八代市役所支店	支店長	山下 たまき
日本郵便株式会社 坂本郵便局	局長	深田 啓介
株式会社 エフエムやつしろ	代表取締役	吉住 一郎
八代市保育協会	書記	木浦 由美子
八代港港湾振興協会	会員	宮本 美代子
株式会社 きらり. コーポレーション	企画広報部長	川越 真也

（欠席）

八代地域農業協同組合	代表理事組合長	山住 昭二
八代森林組合	代表理事組合長	黒木 信夫
メルシャン株式会社八代工場	工場長	藤田 康範
連合熊本県南地域協議会	副議長	谷口 靖

<配付資料>

会議次第、出席者名簿

資料1 第2期八代市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和5年度効果検証（概要）

資料2 第2期八代市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和5年度進捗状況について

参考資料

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 議事

第2期 八代市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

- ・資料1、2 説明（事務局）
- ・資料1は、重要目標達成指標及び重要業績評価指標（K P I）の進捗状況を総括したもの。
- ・あわせて、国立社会保障・人口問題研究所と本市人口ビジョンの将来展望人口及び国勢調査における総人口を比較し、本市の人口の推移や令和6年度以降の取組について整理。
- ・資料2は、総合戦略の重要目標達成指標及び重要業績評価指標（K P I）の取組状況や今後の方針を記載したもの。

— 委員からの主な意見 —

- ・八代市における防災士の人数は増加しているが、人数の増加が八代市の防災力向上に直結するものではない。引き続き、防災士の増加を踏まえた検証を行っていくことによって、八代市の防災力向上に繋げていただきたい。
- ・防災に対する市の施策への市民の認知度が低い。可視化するような工夫をして、認知度を上げるという点にも着目していただきたい。
- ・日奈久断層や八代海活断層からの地震など、八代市で起こりえる災害に対する市民の危機感を高める取組を進めていただきたい。
- ・外国人など情報弱者への防災面に係る周知や、高齢者・赤ちゃんを抱えた方等向けの避難所の整備も検討いただきたい。現在、福祉避難所はあるが、その他にも特定の対象者向けの避難所を設けることで、避難に対するハードルが下がり、避難所における準備等も特化できるため、避難所運営の負担軽減にも繋がるのではないかと。
- ・水害や津波、地震、液状化のリスクに対して、現在の避難所より安全な避難所を設ける必要がないか検証いただきたい。
- ・防災担当課だけではなく、各部署の様々な施策において、防災の視点を取り入れ、より安心安全な八代市をつくり上げていただきたい。
- ・ふるさと納税の取扱商品に、フードバレーの商品の使用を検討いただきたい。
- ・八代の活性化について、組織的ではなく個人レベルや若者が気軽に意見を発信できるような、アイデアを募集するイベントなどの開催を検討いただきたい。
- ・クルーズ船寄港による経済的な恩恵を市民や事業者は実感していない。市民や事業者が実感できるような工夫が必要。
- ・数値目標は、臨機応変に見直していただきたい。
- ・クルーズ船の寄港情報について、ホームページや広報紙だけでなく、より多くの方の目に触れるよう、更なる周知をお願いしたい。
- ・学校の先生の業務負担が非常に大きい。先生方が子供たちと向き合える時間を充分確保できるよう、支援員の更なる増員やボランティアの募集など、市としての対策を検討いただきたい。

- ・少子化の加速を踏まえ、出産や結婚に対する市独自の政策が必要。
- ・子育て環境の充実として、子供の様々な学びの場の整備や教育関連イベントの開催、情報提供などの拡充が必要。
- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証の時期について、次年度の前期、遅くとも9月末までには実施するべき。

4. 閉会